

南海トラフ地震・津波 BCP 個人カード作成資料（2/1）

【BCP 個人カード（表面）：事前準備】

- ① まず空欄にあなたのすべきことを追加で記入し、次にあなたのできることをチェックしてください。そして、合計 100% をチェックした項目に配分し、順位をつけてください。
配分、順位付けが終わったら「BCP 個人カード：事前準備」へ優先度の高い順に記載して下さい。
- ② 表面と裏面の記入が済んだら、BCP 作成担当者がこの検討チェック表と自社の BCP を参考に、足りない部分を指令として個人に割り当て、個人カードに記載させてください。

チェック	事前準備(裏の東日本大震災の被害も参考に)	%	順位	チェック	%	順位
	社長が BCP 担当者を決め作成を指示する			情報のバックアップ		
	災害時社長不在の時の代替者の決定			拠点の分散		
	指揮命令系統の明確化			代替で生産や調達する手段を準備		
	所在地域の危険性を把握			1 ヶ月程度事業を中断した際の損失の把握		
	損害保険の加入			1 ヶ月程度の事業運転資金の確保		
	予備電源の確保			会社の流動を管理し目録を更新		
	建物の耐震・防災化			重要物を高い所に移動、設置		
	設備備品の固定			地震・津波の避難訓練をする		
	電話の不通に対して代替手段の確保			消火器設置と使用方法の訓練		
	緊急時に情報を発信する手段の準備					
	震災後の製造品優先順位の確定					
	災害時代行できる従業員の育成					
	津波、高潮、洪水対策にビニール紐付空のペットボトル大を備える（ ）個					
	夜の発生に備え携帯電話のライト機能を使えるように訓練する					
	防災カードで南海トラフ地震・津波の①～④タイプを知り災害の大きさを想定					
	災害時従業員、家族と連絡がとれるようにしておく					
	災害時支援が来るまでの従業員の安全、健康を確保する計画策定					
	食料、水、原材料、燃料の備蓄（缶詰は賞味期限が切れても相当期間大丈夫）					
	重要な IT 機器システムが使用出来ない場合の代替方法					
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決める					
	初期救急、AED の使用方法、心肺蘇生法の訓練					
	事前の災害対策や被災時復旧の為の融資制度の把握					
	重要な業務、サービスの優先順位の確定					
	災害時における優先業務の目標復旧時間の設定					
	BCP 策定後 HP 中小企業策定運用指針第 2 版 BCP 取組状況チェックを行い完成度をチェック					

南海トラフ地震・津波 BCP 個人カード作成資料 (2/2)

【BCP 個人カード (裏面) : 災害発生以降】

- ① 「事前準備」の作成手順と同様です。
- ② 東日本大震災の被害 震災 6 ヶ月後アンケート結果 (保険会社調査)
東北 6 県 法人会会員を中心に 218 社回答、資本金 5,000 万円未満が 83%

順位	被害の内容	%	順位	被害の内容	%
1	停電	88	9	自社の設備損壊	34
2	電話不通	78	10	風評被害	26
3	IT 機器利用不能	50	11	道路遮断	24
4	自社の業務停止	49	12	自社の従業員被災	22
5	取引先の業務停止	45	13	自社の IT 機器情報システム 損壊	18
6	断水	44			
7	自社の建物損壊	40	14	その他	6
8	顧客の業務停止	35	15	特に被害は受けなかった	2

- ③ 東日本大震災の教訓
 - ・ 隣り合わせの二つの銀行で、何もせずただ逃げた方は全員命が助かり、重要物を金庫に入れていた方は全員津波で亡くなりました。
 - ・ 女川町佐藤水産の専務佐藤充さんは、中国人実習生 20 名全員の命を救い、後に亡くなったが、インターネット上で中国全土から賞賛されました。

チェック	災害発生以降	%	順位	チェック	%	順位
	社員家族の安全確保と安否確認			電気、燃料、水の確保		
	地域との相互扶助			通信手段の確保		
	救助活動			目標復旧時間の策定		
	被害状況調査			風評被害への対応		
	被害情報の発信、共有					
	対応方針決定					
	顧客、取引先との相互扶助					
	取引先への連絡					
	メーカーへの連絡、指示をあおぐ					
	代替仕入先の紹介					
	二次被害の防止					
	お客様、外国人研修生、市民、社員 () の避難誘導					
	優先して継続復旧すべき中核企業の確定					
	事業拠点や生産設備仕入品調達等の代替策を用意する					
	揺れ具合、情報から地震を①～④タイプに特定し、津波高を推測					
	津波は浮くものが無ければ 20cm で死亡率が上がり 90cm で 100% 近くになる					
	津波にはビニール紐付空のペットボトルを腰にくくって全力で逃げる					
	津波に巻きこまれたら、浮く物にしがみつき特に引き潮の落下状態で離さない					
	震源までの距離 = たて揺れの後横揺れまでの秒数 × 10 = km					